

結い YUI

「結い」とは、田植などの時の助け合いのことを言います。土くさく温かい言葉です。

発行者 山梨県人権擁護委員連合会
事務局 〒400-0185 20
甲府市丸の内一―一―八
甲府地方方法務局内
電話 (055)252-1723 9

県連が総会・新体制

新会長に乙黒氏

第六十四回、山梨県人権擁護委員連合会の定時総会が多くの来賓のご臨席のもと、五月十五日午前十時三十分から笛吹市のスコレーセンターで開催された。その中で県連のICT化の取り組みに多大なご尽力を頂いたNTT東日本山梨支店(安藤耕治支店長)に対し感謝状が贈呈された。



中澤豊会長は、挨拶の中で委員各位の努力に対しても感謝の意を表すとともに「任期中に全国に先駆けてICT化

が進んだことは誇りに思う」と述べられ議長を務めた。議事は滞りなく進み、「みんなので、テーマを再度「子ども人権擁護委員としての認識を深めていく」という決議文が満場一致で了承された。

また本年度の新会長に乙黒幸江氏が承認され、本連合会として初の女性会長が誕生した。新会長は挨拶の中で「人権擁護委員の活動の根幹をなしている啓発活動に重点をおき、全県民に人権の大切さを周知徹底させていきたい。二つ目は、最近の相談内容を見ると情報機器を使った陰湿なものも多く、解決の糸口が見

子どもの人権に力点



乙黒 幸江
平成二十七年
度がスタートし、
新たに会長に就
くことになりました。

県連の自主運営が始まってから十余年。今日に至るまでには歴代の役員、及び事務局の多くの委員の並々ならぬご苦勞があったことを思います。

これまでの基礎の上に立ち、更なる会の発展のために努力をしていきたいと思えます。

人権の問題は多岐にわたりますが、殊にネット社会と言われる今日、関連トラブルは急増しています。近い将来はこれらの相談にも対応できるよう、スキルをあげていく必要に迫られています。

総会の決議においては今年

つけ難くなっている。我々もICTのスキルをあげて、是に対応していきたい。また、山梨県はあらゆる場面において女性の登用が少ないので、男女ともに理解しあい、お互いに活躍できる場面を作っていきたい」と話されていた。

(田草川睦美)

「人権の花」と風船

都留協議会 田辺久美子

平成二十七年「人権の花」運動は、大月西小学校と都留市の宝小学校が先陣を切った。大月西小学校には、五月十八日午前九時、大月支局総務係長と地区委員八名が集合、贈呈式に先立ち人権教室が行われた。低学年は「白い魚とサメの子」高学年には「君ならどうする」。

人権教室終了後、校庭での「人権の花」贈呈式、その後恒例の風船上げに入る。子供たちの様々なメッセージをつけた風船は、今年はどこまで飛んで行くのだろうか。

六月二十九日甲府市立北新小学校まで、県内各地で展開されるそれぞれの趣向を凝らした「人権の花」運動が、各々の学び舎を彩る様や、子供たちの心にどんな『人権の花』を咲かせるのかを、楽しみに見守っていききたい。

グループ紹介

甲府協議会 甲斐グループ
小林 昭徳

甲斐Gは、竜王、敷島、双葉の旧三町から成り、十二名の委員で構成されています。委員が協力し種々の行事に活発な活動を行っています。

啓発活動は、「人権教室」を公私立保育園、幼稚園で昨年度八園、紙芝居、折り紙、お話。小学校三学校、クイズ形式の人権教室、いじめについて講演会を行っています。

「人権擁護委員の日」には竜王駅と塩崎駅の駅頭啓発のほか、市の広報車二台に委員が搭乗し、市内の啓発活動と「特設相談」を行いました。「七月の祭典行事」はうちわの配布、「甲斐市フェスティバル」は、各種出店の並ぶ会場のテントの一角にけん玉、ぬり絵、リーフレットの配布等で人権啓発を行っています。

相談は「市民相談」という形で、年間を通して月三回、人権擁護委員一名、他の行政委員一名と市庁舎等で行っています。

救済関係は昨年度は一件ありましたが、法務局と地元委員で話し合いを行い、一定の解決を見ました。

これからも委員全体で研鑽を積み人権活動に取り組んでいきたいと思っています。

軽井沢で開プロ大会・山梨から二十人参加

関東人権擁護委員連合会の大会・研究大会が六月十六日、長野県の軽井沢町で、一都十県から五百八十五人が参加して開かれた。写真。山梨からは県連の正副会長、関係委員長、事務局など、二十人が参加。

(代理)は、自由人権思想の高揚に努めている委員に対し、感謝のメッセージを伝え、「昭和二十三年からスタートした人権擁護委員活動は、委員の



献身的な努力により、国民的な評価を得るようになった。

甲府駅頭で「人権擁護委員の日」をアピール

甲府協議会

甲府G長 河口喜久雄

六月一日の「人権擁護委員の日」に、甲府駅南口に於いて啓発活動を実施しました。

甲府Gのメンバーは朝七時頃から集まり始め、啓発物品の袋詰めを行い、予定していた七時三十分から、法務局の



甲府駅での啓発

職員も加わり総勢十八名でのぼり旗を持つ人と啓発物品を通

昨今はネット上での誹謗中傷やヘイトスピーチなど、人権問題は多様化している」と述べ、今後も変わらぬ支援と協力を求めた。

研究大会では、作家の落合恵子さんが「子どもと大人、同時代を生きる」と題して基調講演。この中で落合さんは「人権とは誰の足も踏まない、誰にも足を踏ませないことだ」と、分かり易く説いた。

研究発表では、地元・長野の三協議会の代表がそれぞれのテーマで活動を報告した。

【諏訪協議会】地域と育む「諏訪・子ども人権の集い」

【松本協議会】スポーツ組織と連携した「子ども人権」啓発活動

【長野協議会】子どもたちの良さを共有する人権擁護委員の実践、中学校における人権教室から学んだこと(県連事務局)

勤・通学の人たちに、「人権擁護委員の日」ですと、声掛けをしながら配布する人に分かれて啓発活動を行いました。

朝の通勤通学に急ぐ人たちに気持よく受け取ってもらおうのは結構大変です。せわしい朝の通勤時間に活動するか、時間をずらして大型ショッピングモール等で行う方が効果はあるような、そんな課題も感じました。

協議会でも総会

各協議会の最初は四月十五日、都留協議会が岩殿山を望む大月市民会館において、五十一名が参加して開かれました。

続いて大所帯の甲府協議会が十七日、甲府総合市民会館で百一名の出席者で開催。

最後は峡南協議会が二十日、富士川町教育文化会館で出席委員三十名で開催。



峡南協議会 総会

全委員に劳いの挨拶をいたしました。どの協議会も無事終了することが出来ました。(深沢正史)

新任・退任委員

▽新任委員 (敬称略)

・萩原昌郎(山梨市)・齊藤早苗(南ア市)・芦沢祐子・遠藤玲詩・熊谷裕子(市川三郷町)・佐藤千枝子・渡邊千春(富士吉田市)・谷内正章

▽退任委員

●七月一日付

志村絹子(都留市)・佐藤久美子(道志村) ●四月一日付
・内田恵美子(甲州市)・神津幸徳(山梨市)・保坂廣文・藤本さゆり・小宮山千雪(甲斐市)・石坂正継(富士川町)

おくやみ

・小林一有(都留市) ●平成二十七年四月二十七日死去

編集後記

新しい年度で一号の発行となりました。編集委員は一名が変更されました。大変に忙しい中、原稿の執筆を頂いた方々にお礼を申し上げます。今年度もよろしくお願ひします。